

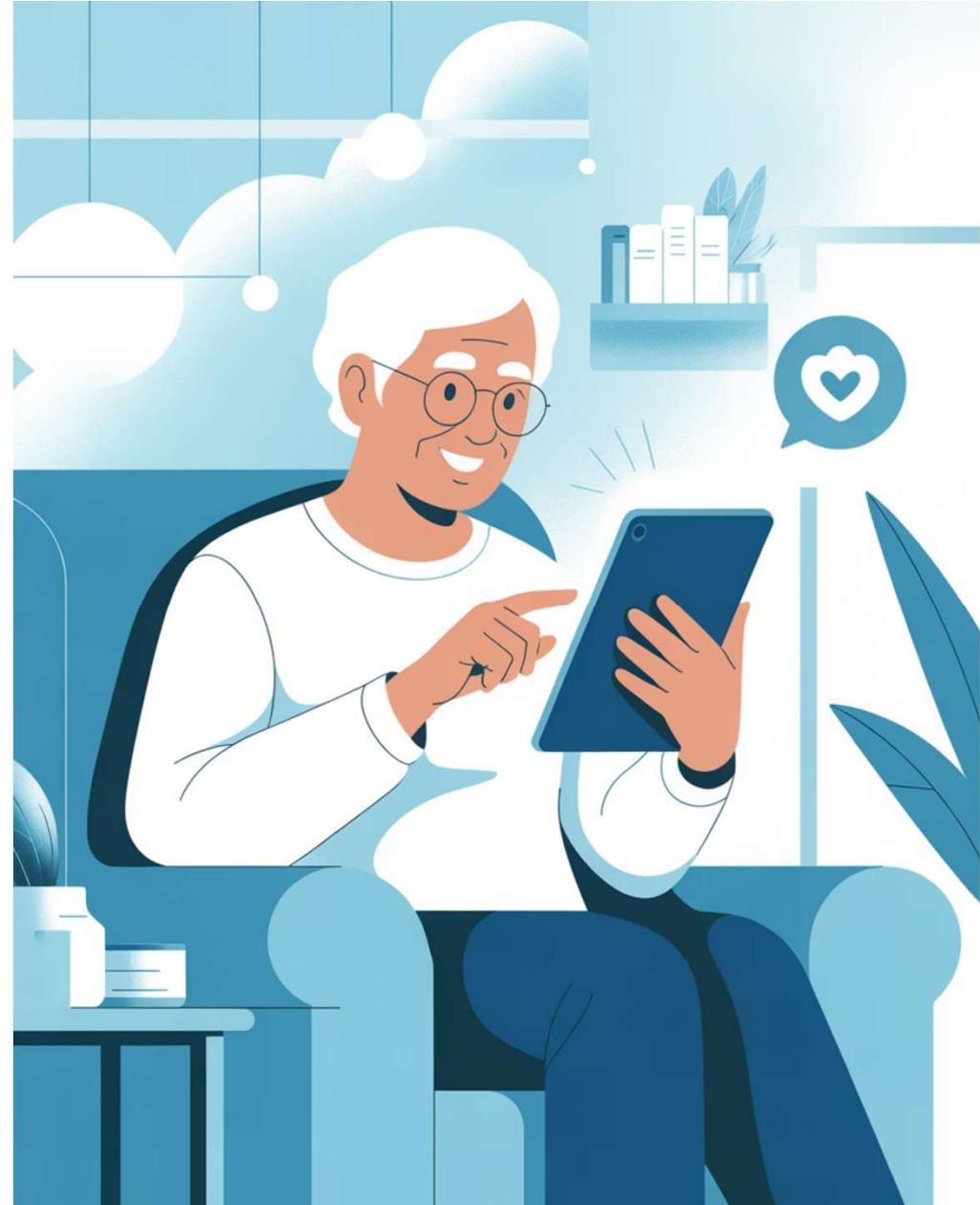
DX戦略 あじさい薬局



DXの方針

近年、電子処方箋やオンライン服薬指導など「医療DX」が進み、薬局の業務や患者対応の形が大きく変化しています。患者の皆さまが求めるのは、待ち時間の少ない便利さと、どこでも安心して相談できる環境です。

当社はこうした変化を、リスクではなく**新たな価値を生み出す機会**と捉えています。デジタル技術を活用し、業務を効率化するとともに、在宅医療やオンライン支援を強化し、「人の温かさ」と「デジタルの力」が共に生きる薬局づくりを進めます。地域の皆さんにとって、より身近で信頼される薬局を目指してまいります。



経営ビジョン

患者に選ばれ、地域に必要とされる薬局となる

在宅医療分野で先進的な存在であり続ける。

デジタル技術を取り入れ、安全・安心・効率的な薬局サービスを提供します。オンライン予約や電子処方箋、在宅支援を通じて、地域の皆さまの健康を支え、「この薬局があって良かった」と思っていただける存在を目指します。

ビジネスモデルの方向性

「処方箋を受け取るだけの薬局」から、**地域の健康を支えるデジタル連携型の薬局**へと進化を目指します。

電子処方箋やオンライン服薬指導、電子決済などを導入し、来局・在宅・オンラインを問わず、患者の皆さまがどこでも安心して薬を受け取り、相談できる環境を整えます。デジタル技術を活用して業務を効率化し、薬剤師がより多くの時間を「人と向き合う医療サービス」に充てられる体制をつくります。

さらに、医療・介護機関とのデータ連携を進め、服薬情報を共有することで、在宅医療や災害時の医薬品提供など、地域全体を支える仕組みを構築します。

「人の温かさ」と「デジタルの力」が共に活躍する薬局モデルを実現し、地域の皆さまに信頼される持続可能な薬局経営を推進してまいります。

DXの戦略

デジタル技術を活用して、業務の効率化と患者サービスの質を両立させ、地域医療・在宅医療との連携を強化し、地域社会に不可欠な薬局としての役割を果たし続ける。

を掲げ、デジタル技術を活用して、業務の効率化と患者サービスの質の向上を両立させ、地域医療・在宅医療との連携を強化することで、地域社会にとって欠かせない薬局としての役割を果たし続けます。

電子処方箋やオンライン服薬指導などのデジタル基盤を整備し、調剤・会計・事務業務を効率化するとともに、待ち時間の短縮や利便性の向上を実現します。さらに、医師・看護・介護事業者とのデータ連携を強化し、在宅医療や地域包括ケアに積極的に参画します。これらの取り組みを通じて、住民の健康と安心を支える持続可能な薬局経営を実現します。

サブ戦略



サブ戦略1

デジタル活用による業務革新とサービス品質向上

調剤・会計・事務などの業務をデジタル化し、標準化と自動化を推進することで、業務効率と正確性を高めます。電子処方箋やオンライン服薬指導を活用し、患者情報を一元管理することで、利便性と安全性の両立を図ります。これにより、従業員が患者対応に集中できる環境を整え、地域から選ばれる薬局を実現します。



サブ戦略2

デジタルを活用した地域包括ケアへの貢献拡大

電子処方箋・電子薬歴・オンライン服薬指導などのデジタル基盤を活用し、医療機関・介護施設・自治体との情報連携を強化します。在宅患者や介護施設利用者の薬剤管理を効率化し、切れ目のない薬物療法の提供を実現します。

さらに、災害時や感染症流行時にも地域全体で情報を共有できる体制を整備し、地域包括ケアの中で薬局の役割を拡大・強化していきます。



業務課題とDX対応

01

業務プロセスの効率化・標準化

調剤・会計・事務にデジタル技術を導入し、業務の標準化と自動化を進めます。セルフレジ、自動監査システム、AI在庫管理などを活用して効率性を高め、従業員の負担を軽減。患者対応や在宅支援に注力できる体制を整え、サービス品質の向上を図ります。

02

患者サービスと利便性の向上

電子処方箋や電子薬歴、オンライン服薬指導を活用して患者情報を一元管理し、待ち時間の短縮と利便性向上を実現。正確で安全な薬物療法を提供し、患者サービスの質を高めます。さらに、医療機関・介護施設とのデータ共有により、切れ目のない支援を実現します。

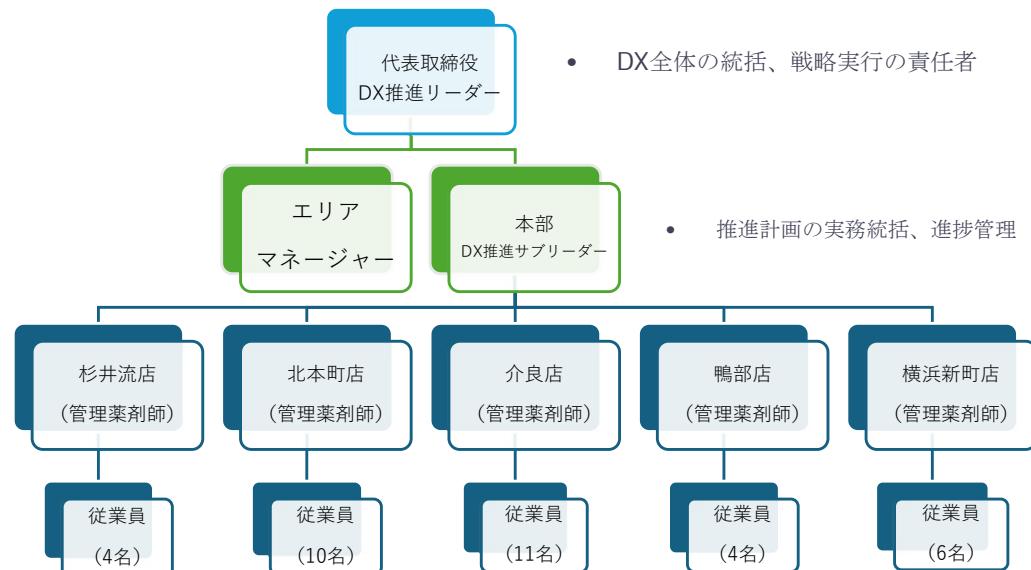
03

地域包括ケア・在宅医療連携の強化

電子薬歴やオンライン連携ツールを活用して、医師・看護・介護事業者と情報を共有。在宅患者や介護施設での薬剤管理を効率化し、災害時・感染症流行時にも連携を維持。地域包括ケアの中で薬局の役割を果たし続けます。

DX戦略推進に必要な体制／人材

DX推進体制



会議体

□ DX推進会議（月次開催）

DX施策の進捗確認、課題共有と解決策検討、
次月の行動計画策定



人材育成

あじさい薬局では、デジタル化を進めるうえで最も大切なのは「人」であると考えています。デジタル技術を導入する目的は、機械化ではなく、患者さま一人ひとりにより丁寧で安心できるサービスを届けることです。

そのため、私たちは次の3つの方向で人材育成に取り組んでいます。

1

DXを支える中核人材の育成

薬局全体のデジタル化をけん引するリーダーを育成しています。経営層やDX推進リーダーを中心に、最新のデジタル技術や医療制度を学びながら、より便利で安心できる薬局サービスを企画・実行しています。

2

日々の業務でデジタルを活かす実務人材の育成

現場の薬剤師・事務スタッフが、電子処方箋やオンライン服薬指導などをスムーズに扱えるよう、研修や勉強会を定期的に行ってています。

3

安心してご利用いただくためのセキュリティ教育

個人情報や医療データを扱う薬局として、全社員が情報管理の重要性を理解するための研修を実施しています。外部専門家による講習や演習を通じて、不正アクセスや災害時にも安全に情報を守る力を養っています。

社員一人ひとりがデジタル技術を学び、活かし続けることで、「人の温かさ」と「デジタルの力」が調和する薬局を目指しています。

あじさい薬局は、これからも地域の皆さんに寄り添い、安心して利用できる薬局として成長し続けます。

DX戦略推進に必要なITシステム環境整備



調剤・監査、在庫管理

薬を安全に、そして正確にお渡しするために、電子処方箋の導入に加えて自動監査システムやAI画像認識による調剤チェックを導入していきます。さらに、AIによる在庫管理システムを活用し、必要なお薬を常に最適な状態で確保。「欲しい薬がすぐに受け取れる薬局」を実現します。



会計・事務

会計やお支払いの待ち時間を短縮するために、セルフレジや自動釣銭機を導入します。また、レセプトと会計システムを自動で連携し、よりスマートで正確な会計処理を行います。



地域連携

地域の医療機関や介護施設ともデジタルでつながり、必要な情報を安全に共有できる仕組みを整えます。FAXや電話に頼らず、電子薬歴やオンラインツールを使って、医師・看護・介護スタッフと連携し、在宅療養や介護支援を切れ目なくサポートします。



患者サービス

薬局に来なくても相談や服薬指導が受けられるように、オンライン服薬指導や電子決済・オンライン予約を整備します。全店舗で電子薬歴を導入し、どの店舗でも患者さまの服薬情報を共有できるようにすることで、「どこでも同じ安心を」お届けします。

DXの達成度を測るDX指標

あじさい薬局では、デジタルの力を使って、「**安心・便利・つながる薬局**」を目指しています。その成果をしっかりと確認するために、患者さまや地域の皆さんにとって実感できる変化を「4つの視点」で数値化して追いかけています。

1 より正確でスムーズなお薬提供へ
業務の効率化

達成指標：業務時間の短縮（3年後：15%削減）、電子化率の向上（紙業務を削減し3年後コピー用紙使用率25%減）

2 もっと便利に、どこでも安心
患者サービスの向上

達成指標：電子処方箋対応率（3年後：100%）、オンライン服薬指導件数（3年後利用率10%UP）、患者満足度（3年後：+10%）

3 地域で支えあう医療へ
在宅・地域連携の強化

達成指標：在宅患者数の増加（3年後：介護レセプト件数20%UP）

4 ずっと続く安心を
経営の安定と持続可能性

達成指標：業務効率化による生産性向上（FTEあたり処方箋件数10%UP）、データ分析に基づく経営指標の改善（在庫回転率の向上）

DX戦略に関する経営者の情報発信

有限会社あじさい薬局は、地域に根ざした「かかりつけ薬局」として、患者さま一人ひとりに寄り添いながら、デジタルの力でより安心・便利な医療サービスを届けることを使命としています。私たちが進めるDX（デジタルトランスフォーメーション）は、単なるシステム導入ではなく、「人の温かさ」と「デジタルの力」が調和する薬局づくりです。調剤や会計業務を効率化し、スタッフが患者さまと向き合う時間を増やすことで、より安全で信頼できる医療提供体制を実現します。

地域の皆さんに「この薬局があってよかった」と感じていただけるよう、これからもDXを通じて、医療と暮らしの両面で支え続けてまいります。

有限会社あじさい薬局 代表取締役社長 阿部 恭宜